



●印刷所：株式会社光明印刷 川崎市幸区塚越4-345 ●発行人：田村伸一郎 川崎市宮前区宮崎5-14-13-301

一人によりそう。明日へつなぐ。ぜひ、ホームページにアクセスして下さい。
Q- 田村しんいちろう 検索

市民相談などお気軽に声をかけてください。

議会 電話：044-200-3361 FAX：044-245-4137
E-mail：tamura@komei-kawasaki.com

公明党川崎市議団HP



川崎市議会

田村しんいちろう議員は12月17日、令和3年第4回定例会において①宮前区のコミュニティの形成について②分譲マンションの管理適正化について③川崎市保育所等整備協力要請制度についての3項目を当局に質疑いたしました。

プロフィール

川崎市議会 文教委員会
大都市財政制度特別委員会
花の台町内会会長(3期目)
宮前平中学校前PTA会長
宮前平小学校前PTA会長

宮前区のコミュニティの推進を!



田村議員は、これまで町内会・自治会活動に新しい補助制度の創設を求めるなど、地域住民の参加と交流を促進するため、他団体との連携による地域課題の解決や、地域活動の活性化を後押ししてきました。

そこで、今後、宮前区は「コミュニティ施策の基本的な考え方」や「区における行政への参加の考え方」に基づき「希望のシナリオ」実現に向け、地域コミュニティの形成・構築をどのように推進していくのか、区長に見解と対応を伺いました。

宮前区長は、「宮前区役所では、区内の資源を活かし、主体的な活動や人をつなぎ豊かにしていく「しくみ」や「しかけ」が、宮前区らしいソーシャルデザインセンターにつながると考えている。11月に行われたラウンドテーブルの試行では3つの取組を取り上げ、プロジェクトとし参加者が一貫して取組み、人材やノウハウの共有、コミュニティの活性化に向けた課題の検討などを行っている」と答弁しました。

町内会・自治会活動応援補助金が後押し!

宮前区長は、「プロジェクトの一つ、花の台町内会と市民活動団体・宮前まち倶楽部は、多世代交流の場を創出し町内会活動の周知や加入促進、地域のつながりづくりを目指し、12月5日の宮崎おちば公園清掃活動を契機にミニマルシェを開催。町内会活動や防災の啓発、町内会会員によるハンドメイド作品販売や絵本の読み聞かせなどが行われた」と紹介しました。

枠組みを超えた連携を

田村議員は、「今回のラウンドテーブルでは、区役所の職員が多様な主体の一員として組織横断的に参加し、区民の皆さまと一緒に考え、議論を交わしていくことが重要である。

また、行政の枠組みや分野を超え、担当部署に留まらずに幅広く関わっていく連携が、コミュニティ活性化につながり、各施策の効果的な実現に向けて欠かせない」と主張。

宮前区長は、「こうした町内会・自治会、市民活動団体、民間事業者や行政も含めたラウンドテーブルの取組を進め、検証を行いながら、多様な主体が協働・連携するプラットフォームの持続・発展的な形成に向け取り組んでいく」と約束しました。

※開催にあたり、平成31年から検討が進められ、宮前地区連合町内会における経費助成や運営支援、さらには今年度新たに設けられた町内会・自治会活動応援補助金を活用し、実現に至りました。



(マルシェ当日) ※撮影時のみマスクを外しています。左から持田全町連会長、田村、宮前まち倶楽部の辻代表、南宮前区長

安全・安心に、良好で快適なマンション生活の実現に!

田村議員は、近年、分譲マンションでは、「建物や設備の老朽化」と「区分所有者の高齢化」という2つの「古い」に起因し、修繕積立金の不足や管理組合の担い手不足等によって、適時適切な大規模修繕工事が実施できず、居住者・近隣住民等の生命や身体に危険が生じるようなマンションが発生していることを指摘。課題解決にむけ、本腰をいれて取り組むよう求めました。

まちづくり局長は、「本市の人口推計などからも区分所有者の高齢化の進展が想定されることを踏まえ、修繕積立金の不足や管理組合の担い手不足等による管理組合の機能低下を起因とした管理不全マンションの発生に懸念している。マンション管理適正化推進計画を令和4年度内に策定して、さらに管理適正化に関する取組を進めていく」と明言しました。

GIGA構想推進校 タブレット端末活用の授業

田村議員は、2012年4月からタブレット端末を活用した授業を行っている市立東菅小学校の授業を視察しました。これまで、議会質問を通じ「GIGAスクール構想」を推進してきたこともあり、今後はさらに、特別支援学校や支援級等で一層活用できるよう取組を進めていきます。



視察報告

皆様の声をカタチに

危険個所にカーブミラーが新設されました!

住宅街の脇道から飛び出してきたバイクを避けるために、電信柱に衝突するという自動車事故が発生した交差点。(写真右) また、公園から子どもが飛び出して、いつか大きな事故が心配されるT字路。(写真左) 田村議員は、地域住民から、「死亡事故など起こらないよう、カーブミラーの設置など安全対策を図ってほしい」と切実な相談を受けました。早速、宮前区役所道路公園センター等と連携をはかり、カーブミラー、グリーンベルト路側帯の設置が実現しました。「安心が広がり、大きな効果が得られている」と喜びの声が届いています。



五所塚第2公園前



五所塚1丁目付近

2021年9月18日付

かわさき記念病院(宮前区)と市立川崎病院(川崎区)が増設され市内4カ所体制になりました。



田村伸一郎・川崎市議

川崎市は8月、認知症の早期発見と治療を担う認知症疾患医療センターを新たに2カ所増設しました。これにより、市内4カ所体制となり、患者本人や家族をサポートする体制を充実させています。センターの増設は、地域の「認知症サポーター」を増やしていく予定です。私は2019年12月定例会で「超高齢社会に対応するため、地域連携型の認知症疾患医療センターを早期に増設すべきだ」と訴えていました。

認知症疾患医療センター増設